

広報

# かわにし

(毎月10日発行)

平成6年 11/10 No.435

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)  
FAX 0257-68-3828)  
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

人口の動き	
— 11月1日現在 —	
男	4,326 (-5)
女	4,401 (-3)
計	8,727 (-8)
世帯数	2,251 (0)
( ) は前月比較	



## 小春日和、ナカゴは ぼくらのフィールドだ



休日救急医

11月13日 大熊内科医院(山本1) ☎ 52-7066  
20日 中条病院(中条) ☎ 57-3018  
23日 庭野医院(寿町4) ☎ 52-2711

27日 大島医院(川原町) ☎ 52-2957  
12月4日 富田医院(神明町) ☎ 52-3269  
11日 国保診療所(高原町) ☎ 68-2034  
(クリニック川西)

# 見てふれて、世界は

## 身近なパートナー

十月二十六日、活性化センターで国際理解講座と海外研修発表会が行われました。

最初に、平成五年度に町の海外研修事業に参加された、清水道貞さん（上町・十月二十五日から十一月一日の八日間・ワイジー）、富井 晶さん（上野・七月五日から十五日の十一日間・グアム、サイパン）、宮 昭一さん（山野田・平成六年一月五日から十五日の十一日間・ワイリピン）の三人から、海外に出て感じたこと、思ったことの発表があり、次いで、上越教育大学教授の森島 慧さんを講師に、国際理解講座が行われました。同氏は、永くアメリカのミネソタ大学等で教壇に立たれ、この間の経験談を通して、「国際理解は、一人一人の出会いから始まる。ホームステイ等を通じて、外国との交流を深めては」と国際理解の原点を話されました。平成五年度海外研修事業参加



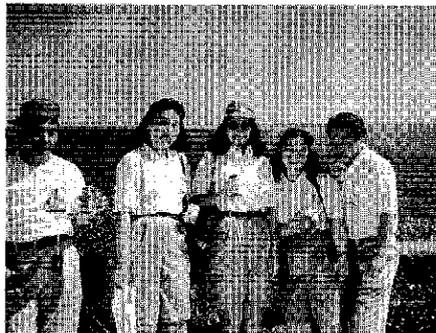
講師の森島さん

者の体験談をまとめた。海外に学ぶより、富井 晶さんと高橋順興さん（発電所通東・十一月十日から十五日の六日間・ハワイ）のレポートを紹介します。なお、平成七年三月三十日までに終了する海外研修の計画がある方は、早めに教育委員会社会教育係（☎六八八―二一六七・有線五五八八）までお申し出ください。

### 船 旅

上野 富井 晶さん

私達の乗った船名は「ふじ丸」という総トン数三三、三四〇トン、定員一六三至六百名、国際遠洋の客船でした。出港日、カラフルなテープに色どられながら神戸港をゆつくりと離れて行く時は本当に綺麗！ライフボード・ドリルという避難訓練を受け、救命胴衣をつけてハイポーズ。非常用ボートと筏の所まで行き説明を聞きました。誰かが筏は恐いと言ったら、以外にも筏の方が転覆してもすぐ戻るのて安全との事。講師の先生方によるスタディーの時間は船底近いホールで揺れるのです。大丈夫だなと思っていたのにやはり



右から2人目が富井さん

船酔いをしてしまいその後半日は寝てました。ちゃんと食べてれば酔いにくいそうです。そのためなのか、船の食事はおいしく、色々な物がたくさん出ました。スケジュールがびつりりと決まっています、特に日中は授業の間の休憩が十分位しかなくてW・Cは大変でした。でも、勉強ばかりだけでなく船上運動会やお茶会、現地の方々を招いての交歓会、船上パーティー、慰霊祭、観光等、毎日が充実していました。サイパン、グアムでは、戦争の後の生々しいほどに残っている砲弾の跡を見た時、恐ろしくて身震いするほどでした。観光の時、全員団服用で少々恥ずかしかったのですが、五百名からいるとすこかったです。写真に写っているのが団服で、サイパンのバードアイランド。バンザイ・クリフと別名されているサバナ岬でも、日本人観光

客というのは、ピースしながら写真を撮っているのは悲しくなりました。その昔、日本兵や民間人が死を決め身を投じた所なのに……。でも、海の碧さが本当に綺麗だったので撮りたくなるんです。やはり南国と言えどヤシの実ジュースを飲んでみなくっちゃと、トライしたら味はほとんどポカリスエット。ガイドさんがグアムでしか売ってないと言っていた紫色のアイスも食べました。紫色の芋で無着色、味はただ甘かった。

現地の方との交歓会に、日本の紹介ビデオを見せて、お茶を点で飲んでもらったり、懇親会では日本の名産品や民芸品を展示し、食べ物などは試食していただき、民芸品などで遊んだり、現地の方や日系の方が喜んでくださいました。私は、交歓会の時オープンシップ委員だったので、色々お手伝いしながら一緒に楽しみました。私達団員の中に実行委員がおりまして、他にもスタディー委員会、ストライプ、フレンドシップ、生活、広報等、皆工夫をこらして、それぞれのグループで活動しました。スタディーの時間に船長のお話があり、小さいときから船乗りになりたくてがんばって来た事や、今でも海賊が出るそう

で、三度位狙われても消化用ボースの水で船に向って散水し、追払った事など武勇伝をうかがいました。

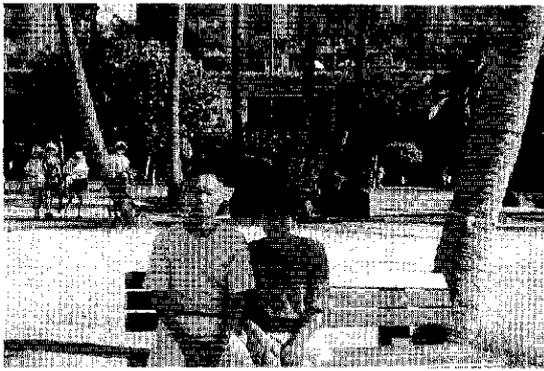
操舵室やエンジンルームも見学できて、操舵室はやはり見晴しがよく、気分がよかったです。水平線というのはどのくらい距離に見えると思いますか？実は十八〜二十km程なのだそうです。イルカや鯨は見るのか何したら、イルカは群をなしている、近くにいれば遊びに寄って来るとの事で、鯨は春にホエールウォッチング・クルーズというのまであるそうです。そんな話をして三日後ぐらいに、イルカの群が近くに来ていると放送が入り、デッキに出て見ると、碧い波間に光を受けて光を受けて泳いでいるのです。皆おーと歓声をあげつつ見ました。きれいでした。また、夜の月明かりを受けてる波は、金色で美しく印象的でした。

毎日が本当に充実していて、たくさんの人と知り会って、何か自分にプラスになったのではないかと思います。大海原を見ながら、こんな風に心の広い人にならなくてはと思いつつ、初の海外旅行、初の船旅をしまいいりました。

## 結婚25周年ハワイ旅行

発電所通東 高橋順興さん

平成五年十一月十一日、私達の結婚二十五周年記念に、三人の息子達がお金を出し合せて海外旅行をプレゼントするという事で、二男が旅行会社のハワイツアーに申込んでくれて実現の運びとなりました。ちょうど日程も記念日が二日に入り運が良かった。二男の高校の同級生が旅行会社に今年春入社し、一か月前からハワイの案内誌やらおみやげの品々、免税店での買物、ABCストアでの買物等々パンフレットを山のように持って来てくれましたが、老眼と忙しさに疲れて勉強もしないまま出発



ヤシの木の下 ツーショット

の日がやって来た。二人の荷物には少なめにと考えたのだが、友達はやたらと大きなバックを貸してくれたので結構いっぱいになり、新幹線の予定がバスに変わって良かったと思った。一路成田新東京国際空港へ。子供みたくに胸がワクワクドキドキ。なだもんね、パスポート持つのも飛行機に乗るのも。忘れ物はな

いよいよ出発U A 8 2 6 使。夜のフライトなので思っていたより感動はなかったです。エンジンの音が思ったより大きく、眠れないままふと気が付くと外は明るかった。六時間余り。いよいよ憧れのハワイ。思っていたより入国審査も割合簡単に終り、外に出ると看板ガールチャンのレイの歓迎。「アローハ ようこそハワイへ」と若い女性に笑顔で迎えられる思わずいい気分になり、自分でもアローハと練習してみた。日本からの服装ではとても暑くて急いで半袖に着替えた。常夏のハワイを実感。まずはホノルル市内観光。日本人、日本車の多いのにびっくり。国立太平洋記念墓地、風の名所ヌアヌバリ(展望台)、ショッピングセンターとどこにいても日本人、韓国人、中国

人、皆んな日本人にみえた。英語など一言も使う必要なかったみたい。

ワイキキの浜が陽に映えるホテルときれいな青い海。今まだ目に焼き付いている。

ホテルに到着するなり、ハワイは治安が悪いという事で二時間近く注意事項を聞きながらやつの思いでホテルの白室へ。

名所めぐりは太平洋の自然と文化に触れる。ハワイ、タチヒ、サモナポリネシアの七つの地域の暮らしが再現された圏内は水路でつながれ、ガイド付きのボートで島巡りをする。日本の明治村みたいという人がいた。世界最大の休火山をもつ島、白浜のビーチと緑の渓谷に彩られた島、ハワイ王国の歴史をとどめるマウイへと飛行機はたった。

太陽の国ハワイらしく快晴、運良く窓側に乗る事ができ、ダイヤモンドヘッドを真下に見ながら青空に白い雲海と言葉では言い表わせない何枚かをカメラに納めた。マウイに到着しまずは観光バスでハレアカラ標高三〇五五メートルの三〇〇〇メートルまで登り、バスから降りたら寒くてブルブル。

山から降りるとサトウキビ畑が延々と続く。

ハワイの地場産業のサトウキ

びも、発展途上国の安い砂糖に追われ年々減少しているとの事でした。輝かしい歴史に彩られた町ラハイナ。昔捕鯨船で栄えた港。今も昔の船で再現し名所

になっていった。ラハイナのサトウキビ列車に乗り、懐かしいサトウキビの時代を活躍したんだな一と思いつきながら町を後にした。

高級リゾートを横目に見ながら帰路につく。ホノルルは十一月と二月までは雨期との事で、二日前までは雨がちだったとの事。日中三十一度のワイキキ浜で足だけ海水浴して、午後はショッピングとおみやげの事で頭がいっぱい。アツという間のハワイでの四日間が終わった。

子供達良い思い出をありがとう。

高橋新リゾートを横目に見ながら帰路につく。ホノルルは十一月と二月までは雨期との事で、二日前までは雨がちだったとの事。日中三十一度のワイキキ浜で足だけ海水浴して、午後はショッピングとおみやげの事で頭がいっぱい。アツという間のハワイでの四日間が終わった。

子供達良い思い出をありがとう。

川西町海外研修事業の概要は次のとおりです。ご利用ください。

●対象者  
川西町に住民登録し、一年以上居住しているとともに引き続き居住する意思をもっている方。(ただし、幅広い参加を得るため一定の制限があります)

●研修の対象  
○特別研修 農林・商工業者がその所属する機関・団体等の推薦を受けて参加するもの。

○教育研修 教育・文化・スポーツ等の向上をはかるため、自主的に内容を選定して参加するもの。

○国際化社会に対応する人間形成のために行う一般の海外旅行。(ただし、企業等の福利・厚生を目的とするもの及び国際親善や公序良俗に反する恐れのあるものは対象となりません)

●補助金  
経費の二分の一以内、一般の海外旅行は三分の一以内とし、三十万円を限度とします。

●参加申し込み  
出発予定日の十五日以上前に研修計画書を教育委員会に提出し内容審査を受けます。その後、承認・不承認の連絡をします。

●特別研修 農林・商工業者がその所属する機関・団体等の推薦を受けて参加するもの。

○教育研修 教育・文化・スポーツ等の向上をはかるため、自主的に内容を選定して参加するもの。



会の最後に、研修参加者のおみやげの抽選会がありました。

今年、春からの少雨、夏は連日の猛暑と水不足にみまわれ、農家の皆さんは農作物への水管理に大変苦労されたことと思います。それでも冷害だった昨年と比べ、全体的には米の収穫量はますます、おいしい魚沼コシヒカリが食べられそうです。

中魚沼では、昭和六十二年度から中魚沼米消費拡大推進連絡会（十日町市・川西町・津南町・中里村・JA十日町市・JA新潟川西・JA津南町・JA中里村・中魚沼農業改良普及所）を組織し、米消費拡大と日本型食生活の推進に向けた取組みを行ってきました。その一貫として、今年も広報に特集を組んでみました。

昨年の米緊急輸入とガット・ウルグアイラウンド交渉により外国米への関心が高まっています。そんな中、安全で身近なお米に目を向け、改めてお米のおいしさを噛み締めていただきたいと思ひます。

## 伝えてほしい！素朴な味と技術

今回推進連絡会のメンバーは、十日町市尾崎の小川キイさん、小黒沢の宮沢リツさんに教わりながら、笹だんご作りをしてきました。自然の味、郷土の味を大切に、手作り加工に励んできたお二人。慣れた手つきで、口頃からよく作っている様子が伺えます。私達がようやくすげの結び方を覚えると、いつの間にか、四十五個余りが出来ていました。ふかしたてでアツアツの笹だんごは、つやがあって、素朴な甘さで、美味しいものです。作ってみませんか。



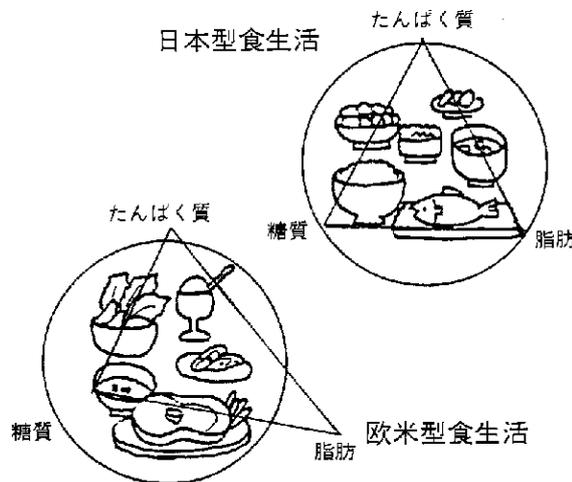
### 材料

- もち米粉 4合
- うるち米粉 6合
- よもぎ（冷凍） 700g
- 小豆あん 小豆 1升
- 砂糖 2ダマ
- すげ 笹の葉
- （笹だんごの素）
- \*だんごの固さによって、好みで入れる。
- （サクラン）
- \*小豆あんのやわらかすぎる時に入れる。

# すこやかライフ

## 欧米人も注目！日本型食生活

欧米において食べ方の偏りから、動脈硬化、心臓病や脳卒中、高血圧などの成人病や、肥満が多いことは知られていますが、そこで、食事のコントロールに関心が集まっています。炭水化物、脂肪、タンパク質のバランスを考えると、食生活では日本型が好ましいとされています。



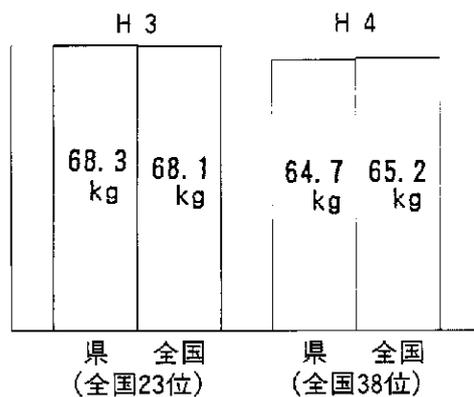
日本型食生活のポイントは、「お米」を中心とすることです。代表的なメニュー「ごはんにお味噌汁、焼き魚に、煮もの、そして漬け物」のように、ごはんをとりまく数種類のおかずから、バランスよく栄養を摂取できるのです。ちょっと考えてみても、洋食の主食であるパンと比べて、ごはんは合うおかずはたくさんありますね。それに、粉にした小麦からつくられる白いパンには少ない食物繊維もごはんの魅力です。また、お米のタンパク質は良質で、人体内では合成で

きない必須アミノ酸を含んでいるので貴重なのです。

これらの知識を得た健康食愛好家や、菜食主義者、働きがかりのビジネスマンで、欧米の和食レストランや寿司バーは、昼夜を問わずにぎわっています。

海外でこのように高い評価を受けながら、当の日本では、食生活が多様化し、欧米型食事やインスタント食品の利用が定着したり、ごはんを食べると太るなどという誤解からか、お米の消費量は減少しています。平成四年には米どころ新潟県の一人当たりの値は、全国の平均を下回ってしまいました。（グラフ参照）

新潟県の米の一人当たり消費量



「お米」は日本の気候風土に適しているため全国でつくられ、食文化の主役としてこれまでできました。ですから、日本人の体にも合っているのです。お米の良さ、日本型の食生活の良さを改めて考えてみてください。

作り方

- ①よもぎはゆでておき、ゆで汁または、熱湯で米粉をこね、耳たぶ位の固さにし一時間ねかす。
- ②もう一度こねかえし、一口大にちぎり、小豆あんを入れてまるめる。
- ③笹の葉三枚でくるみ、すげでしばって十分位蒸す。



## 上野小学校が一二〇周年

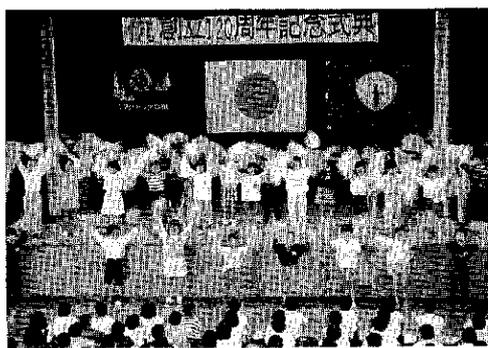
十月十六日、上野小学校（山後憲雄校長）で創立一二〇周年記念式典が行われました。

この日は、展覧会とステージ開きも同時に行われ、児童、PTA、地域関係者等で体育館がいっぱいになりました。

また、同小後援会富井昭平会長から、昭和二十九年同校八十周年記念に贈られた校旗に変わって、町の色「緑」を基調とした新校旗が贈られました。児童



力強く誓う  
内山裕貴くん



低学年による「歌って踊ってゴー」

を代表してお礼を述べた内山裕貴くんは、「新しくなった校旗やステージ幕にふさわしいりっぱな上野っ子になります。」と力強く誓ってくれました。

# ごはんで乾杯!!



ごはんカボチャ

## 誤解していませんか？米・コメ・こめ

■誤解その1 ごはんは太る？

ごはんはパンに比べても低カロリー。小麦のように粉食で摂るでんぷんは消化が早く、脂肪を合成するインシュリンの分泌が多いのですが、粒食のごはんなら、インシュリン分泌が少ないので脂肪の蓄積が抑えられます。デンプンは毎日の活動には不可欠な栄養素。ということは、太りたくない人にこそ、ごはん食が最適なのです。

■誤解その2 ごはんで高血圧？

ごはんは味が淡泊なため、おかずが味の濃いものに偏ると塩分の取り過ぎから高血圧に。ごはんには血圧を高くする成分はないのです。高血圧予防には①塩分を控えること②柔軟な血管を造ることが大切です。ごはんなら幅広くおかずを選べます。魚・貝や豆製品など優良なタンパク質を含むバランスの良い食事を心がけましょう。

## 大人気！我が家の新メニュー

■おかわりノ塩鮭のませずし

材料（4人分）

- 米2カップ
- 水2カップ
- \*合わせ酢
- 酢1/5カップ
- 塩小さじ2/3
- 砂糖大きじ2/3
- 鮭2切れ
- きゅうり2本・塩



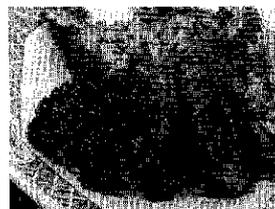
作り方

- ①米を炊き、蒸らしたらおひつに移して合わせ酢を回しかけ、あおぎながら切るように混ぜ、人肌まで冷めます。
- ②鮭を焼き、皮と骨をとってほぐす
- ③きゅうりの薄切りは塩でもんできつと水洗いして水気をきる
- ④①に②③と白ごまを混ぜる

■ぱりつとライスロール

材料（10本分）

- 残りごはん適宜
- 春巻きの皮10枚
- むきえび100グラム
- 豚もも肉100グラム
- たけのこ50グラム
- しいたけ2枚
- \*調味料
- しょうゆ大きじ1/2
- 酒大きじ1
- 砂糖小さじ2



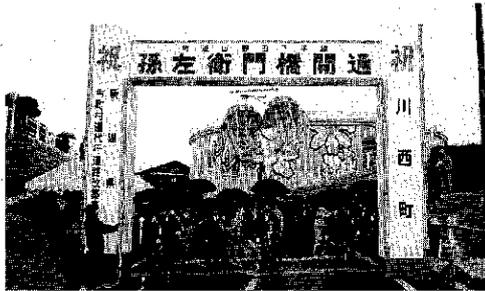
作り方

- ①たけのこ・しいたけ・豚肉は細切り
- ②なべに油を熱し材料を炒め、調味料を加えて炒める
- ③残りごはん②を混ぜ10等分にする
- ④春巻きの皮で③を包み、水溶きの小麦粉で留めて、油で揚げる

# 全線 町道山野田下平線 開通

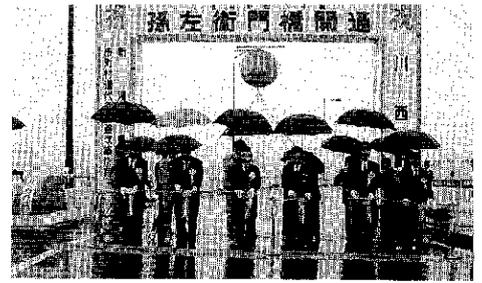
町道山野田下平線改良工事は、昭和59年のルート決定から始まり、11年の歳月と約8億5,400万円（妻有大橋分26億5,500万円を除く）を投じ、平成4年5月には暫定供用を開始しましたが、陸橋部分の早期完成が待ち望まれていました。今回、県の市町村代行道路改築事業により、平成4年度から2年6か月で孫左衛門橋（事業費約7億円）が完成し、10月31日の本格的供用開始となりました。

この日は、県、町、地元、工事関係者約100人による安全祈願祭の後、町内の三代夫婦 数藤梯一さんご一家（沖立）、丸山紘司さんご一家（高原田）、須藤修さんご一家（仁田）の先導で渡り初めが行われました。



花火の合図とともに  
栗玉が割られました

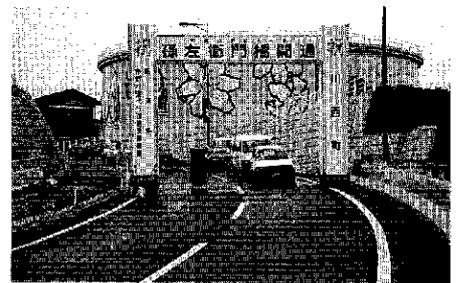
川西中学校吹奏楽部の  
ファンファーレに合せ  
て、テープカットが行  
われました



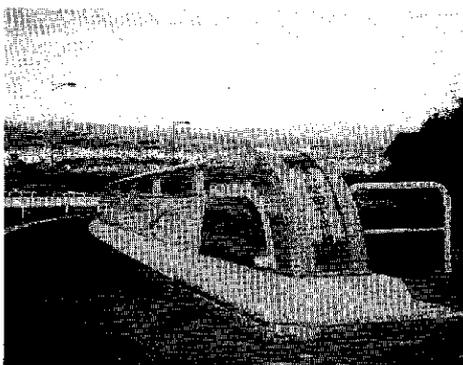
いよいよ待ちに待った渡り初め、  
三代夫婦を先頭に、地域の皆さん  
で完成を喜びました



10月31日午後3時、  
花火を合図に、一般供  
用を開始しました



橋の親柱は、町の烏キジと孫左  
衛門の渡しをモチーフとしてい  
ます。歩道を利用した健康ウォ  
ーキングには最適な場所です



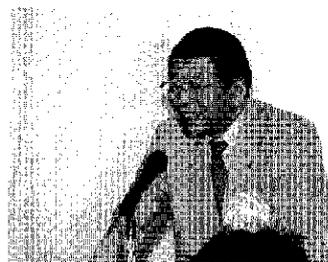
## まごぜんばし 「孫左衛門橋」の名称について

この橋が架かる場所の近くには、盆踊りの3階節に取り入れられて親しまれている「孫左衛門渡し」が大正11年までありました。また、この渡し場の創始といわれる孫左衛門家（田中氏）を含む渡し守などの家があった場所を、俗に孫左衛門と呼んでいると、町史（昭和62年3月発行）では記されています。

# 川西町 健康まつり



講師の相川さんは、ご自身でも大きな病気を経験されたことから、病気は避けては通れないものと認識し、進んで検診を受けることを勧めていました。



テレビでおなじみ元NHKアナウンサー 相川浩さん

◀一般決勝  
息づまる熱戦  
こちら向きが優勝  
チーム

「自動測定コーナー」  
定期的に測定し、  
健康管理に役立て  
ましょう ▼



▲「試食コーナー」  
カルシウムをとって元気を保ちましょう



## 町民綱引き大会の結果

- 小学校低学年
- 一位 ミスタージョン千手
- 二位 モリモリ3の2 ファイターB
- 三位 モクラクサブロー
- 小学校高学年
- 一位 モクラクジロー
- 二位 モクラクタロー
- 一般の部
- 一位 白倉オールマイティーズ
- 二位 モクラクA

- 三十回
  - 田中 精一 (仁田・45歳)
  - 田中 貴代栄 (小白倉・57歳)
  - 江口 サカエ (新町新田・62歳)
  - 高橋 弥生 (住上野教員・29歳)
  - 杉山 茂 (神社町・61歳)
  - 南雲 浩 (寺尾・34歳)
  - 小林 平一郎 (中仙田・64歳)
  - 小林 一也 (中仙田・51歳)
  - 二十回
  - 山口 清 (仁田・60歳)
  - 五十回
  - 蔵品 泰治 (霜条・41歳)
  - 川崎 秀雄 (栄町・47歳)
  - 根津 新一郎 (原田・60歳)
  - 馬場 彰 (学校町・40歳)
  - 小海 マツ子 (小根岸・48歳)
  - 小川 力 (赤谷・26歳)
  - 高橋 昇 (三領・42歳)
  - 白井 公子 (寺尾・51歳)
  - 献血功労者
  - 百回
  - 保健衛生功労者
  - 外山 ユシ (山野田・68歳) 母子保健推進委員 永年功労十年
  - 高橋 ムツ子 (坪山・47歳) 同右
- 健康まつりに合わせ、永年町の母子保健等に貢献されたお二人を表彰し、献血功労者、(百回・五十回・三十回) 二十三人に感謝状を贈り、平成五年度中に医療機関にからなかった国保世帯六家族に記念品を贈りました。表彰等を受けた方は次の皆さんです。(敬称略)

健康づくり標語

- 健康は 自分でつくる 大きな財産
- 家庭から 広げよう心とからだの健康づくり
- 毎日の 努力にかける 健康づくり
- 気をつけよう 食べすぎの みすぎ 太りすぎ



記念品を受ける山岸さん



献血100回 200ml換算で20lにもなります

- ◎健康家族
- 五十川 弘夫(一家(栄町))
- 相崎 政吉(一家(学校町))
- 須藤 カツ子(一家(学校町))
- 山岸 徳次(一家(霜条))
- 小川 武良(一家(赤谷))
- 登坂 キユ子(一家(岩瀬))
- 庭野 一夫 (赤谷・44歳)
- 白井 敦 (寺尾・23歳)
- 渡辺 正範 (上野・36歳)
- 登坂 久仁子 (岩瀬・29歳)
- 渡辺 重義 (仁田・41歳)
- 五十嵐 清 (野口・24歳)

# 小林健三さんが

## 防犯荣誉銀章受賞

小林健三さん(木島)は、二十年來の地域の防犯活動や青少年の健全育成の取り組みが認められ、平成元年十月の防犯榮譽銀章に引き続き、警視庁長官名の銀章を受賞されました。伝達は、十月五日、活性化センターで開かれた、町防犯協会講習会の席上、本間儀美十日町警察署長から行われました。



この章は、今年には県内で四人が受賞されましたが、十日町・中魚沼管内では、小林さんが初めての受賞となりました。

# 山ゆりの会が

## 厚生大臣表彰受賞

山ゆりの会(南雲 良代表・会員百十人)は、町の老人給食ボランティアグループとして、昭和五十四年に発足。当初は老人給食ボランティア団体は少なく、その設立は県内では新発田市に次いで二番目でした。今年の四月からは月曜と木曜の週二回、月八回にサービスを拡大し、町内約四十世帯のひとり暮らしのお年寄りや老人世帯等に、心のこもった弁当を届けています。こういった地道な活動が認め



られ、今回の厚生大臣表彰の受賞となりました。

# 柳雄一さんが

## 新潟日報文化賞を受賞

柳雄一さん(中島町)は、生活排気熱を利用した「柳式」融雪屋根住宅を開発したとして、新潟日報社の文化賞を受賞されました。

この賞は、毎年県勢の伸展に大きく寄与された方を対象として、昭和二十三年から行われているもので、十一月三日に新潟



日報本社において表彰式が行われました。

# 町体育協会が 功労者らを表彰

10月29日、総合体育館で第2回交流会兼第15回体育功労者等表彰式が行われました。



受賞された方々は、次のとおりです。(敬称略)

### ◎体育功労者

宮 啓一(山野田・前体育協会長、体育振興に尽力)

田村才一郎(山野田・ゲートボール連盟設立、普及に尽力)

### ◎優秀競技者大章

渡辺一治郎(高原田・卓球)

渡辺卓也(高原田・卓球)

### ◎優秀競技者

中川喜一(仁田・卓球)

羽鳥洋喜(十日町市・野球)

### ◎奨励者

〔宍手道〕春日敏明(神社町)

〔駅伝〕渡實克典(新町新田)

片桐英恭(小白倉)〔競歩〕

清水孝(山野田)〔テニス〕

梅山慎太郎 根津具隆 尾身

明日香 村山美香子(上記四人十日町市)〔陸上〕

光(上野)丸山健士(木落)

〔卓球〕池竹千津子(原田)

柳香織(中島町)村越祐介

(野口)池竹祐子(原田)

〔スキ〕小林由子(中仙田)

〔相撲〕金子実寛(岩瀬)

〔柔道〕小林創(中屋敷)南

雲悠延(中屋敷)五十川潤

(沖立)高橋保弘(田中町)

小林一将(中屋敷)茂野知幸

(高原田)高橋直隆(下新井)

### ◎感謝状贈呈

富井 茂(十日町市)

高橋恭平(田中町)

町の話題あれこれ

# 町の話 題あれこれ

## 羽ばたけー町の鳥キジ

九月二十九日、川西町猟友会（田中一男会長）の皆さんが、仙田保育園周辺にキジ二十羽を放鳥しました。

同会は、年二回キジや野鳥を放鳥しており、昨年は百羽もの鳥を野に放しました。

キジの放鳥を手伝った園児たちは、最初はおっかなびっくり触っていましたが、慣れるにしたがって、一羽一羽の羽ばたきに大きな歓声を送っていました。



一羽一羽力強く飛び立つ若キジ

## 農協が新事業にチャレンジ

十月十九日、農協農産加工所で無菌米飯加工施設の起工式が行われました。

この施設は、食糧管理法廃止を踏えて、町農業の新しい展開の一つとして計画されたもので、平成七年四月実稼働を目指して工事が進められていきます。

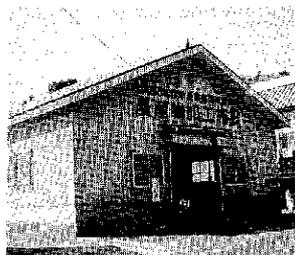
事業費は約四億五千万円、自己資金九千万円のほかは国の融資を受けます。生産目標は七年が三百万個、九年には一千万個を目標としています。もう少しすると、「本物の味・川西コシヒ



とを成功した事業の無事な祈り

カリ一〇〇%」のパックライスが店頭に並ぶこととなります。

改築され  
米飯加工所  
となります



## ○番！一番ゲート通過

十月十二日、庚塚運動場で第十二回中魚沼郡・十日町市老人クラブゲートボール大会が行われました。

大会は、十日町市から十六チーム、津南町から七チーム、中里村からの四チームに、川西町からの五チームを加え、三十二チーム参加の大きなものとなりました。町から参加した各チームは健闘したものの、上位入賞はなりませんでした。

また、二十日に行われた健康まつりゲートボール大会は、悪



1市2町1村の老人クラブ会長と町長による始球式

天候のため途中中止となり、決戦は来年へと持ち越されました。

## ワンちゃんも大好きナカゴ

十月三十日、ナカゴグリーンパーク・グラウンドを会場に、ワンワンフェスティバルインナカゴが行われました。犬たちとの遊び方やドッグカートレースに、遠くは神奈川県からの参加も含め、飼育者約百人と六十頭の犬が集い、グラウンドに設けられた障害物をクリヤーするアジリティー種日などにチャレンジしました。なかでも、ノルウェーで身体障害者のために開発された、四輪のカートを使って行うドッグカートは、人と犬が

一体となってグラウンドを一周する、迫力あるタイムレースとなりました。



## フィッシングゾーン

### 渋海川

十月九日、渋海川流域で第二十一回魚釣り大会が行われました。

当日は、天候にも恵まれ、五十七人の太公望が集い、早朝より釣り糸を垂れました。釣果はおおいにあがったようです。各部門の上位の方を紹介します。（敬称略）

#### ◎大物の部

- ①小林和人 鯉 三・〇グラム
- ②佐藤欣也 鯉 二・五五グラム

#### ◎大漁の部

- ①小宮山昇 土尾一、六四〇グラム
- ②樋口和也

努力賞 登坂竜也

#### ◎特魚の部

- ①小林健治 ナマズ 五九〇グラム
  - ②柳 雅之 ナマズ 五〇〇グラム
- ※ほかに、スナツボリ、川エビ、フナ、ハヤなども取れました。



大物の部第2位の佐藤さん

低利な融資制度、有利な補助金制度

# 応援します 雪に強い家づくり

11月30日までに連絡ください

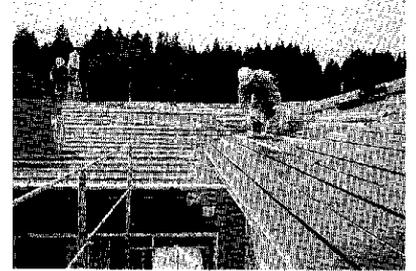
大きな危険と負担の伴う屋根の雪下しを解消し、安全で快適な克雪住宅を広く普及したいと、町では融資制度と、補助金制度を設けております。

平成7年度に住宅の新築や、屋根の改良を予定している方で融資制度、補助金制度の申し込みを希望する方は、11月30日までに連絡ください。連絡いただかないと、制度を利用できないことがあります。

融資制度を設けて11年間が経過しました。この間利用された世帯は200余りと、町全体の約1割が克雪住宅化されました。

平成6年度からは最高44万円という補助金制度も加わりました。克雪住宅の建築、屋根改良計画がありましたらご相談ください。

建設課都市計画係 ☎68-3111 (内線60) 有線2123



11/11  
11/17は

## 税を知る週間です

この週間に合せ、全国の中学生を対象に標語を募集しました。十日町税務署管内では、郡市内から一、二〇四点の応募があり、川西中学校からは二六九点の応募がありました。

また、十日町納税貯蓄組合連合会では、税についての作文を募集。郡市内から二六四点の応募があり、川西中学校からは二二三点(三年生のみ)の応募がありました。標語・作文について、入選の作品を紹介します。  
(敬称略)  
なお、作文の入選作は本紙十二月号から順次紹介します。

### 【標語】

関東信越国税局長賞 優秀  
税金は 明るい社会の サポ

ーター 三年 羽鳥 直

新潟県租税教育推進協議会長賞

みんなの税 豊かな暮らしの

エネルギー 一年 木村友士

十日町税務署長賞 優秀

支え合う 木米の明るさ あ

なたの税 三年 柄沢康子

町租税教育推進懇談会

〈入選〉  
姿変え 社会で生きる ぼく

らの税 三年 小海 豪

おさめよう みんなのくらし

に 生きる税 二年登坂大吾

発展は あなたの税が キー

ワード 一年 金子利也

税金は 納めて育てる 未来

の芽 一年 高橋隼道

この国と 明日の自分に や

くだつ税 三年 井上古典

税金は 福祉に平和に 明る

い未来 三年 山口貴志

### 〈佳作〉

一年 中島雅哉 田中美奈子

高橋 淳 大浦正美 半藤賢一

木村亮介 小宮山知加

高橋史子 平野理恵

二年 田口沙織 小海政裕

齊木麻友美 佐藤正人

三年 滋野香織 五十嵐勝行

高橋倫子 富井康暢 佐藤 忍

小川朋美 星名冴子 田辺 学

### 【作文】

町租税教育推進懇談会

### 〈入選〉

「税金について」 二年高橋陽子

「税について」 二年山口淳史

「税について」 三年山田清香

### 〈佳作〉

三年 清水 暉 五十川徳倫

高橋倫子 数藤杏子 蔵品絵理

## カメラ散歩



10/23 なかまの家  
収穫文化祭



10/23 町郷土芸能協会  
発表会

### 同女子

①高橋あすか (千手小)

同一般男子

①高橋 力 (室 島)

同一般女子

①高橋弥生 (上野小教)

Cコース (4.0km)

中学生女子

①南雲裕子

同一般男子

①小松 明 (川中教)

同一般女子

①稲川涼子 (川中教)

Dコース (6.8km)

中学生男子

①井上吉典

同一般男子

①渡貫克典 (新町新田)

同一般女子

①小川めぐみ (赤 谷)  
(1位のみ掲載)



## 町民マラソン大会結果

Aコース (1.5km)

小学生1~3年男子

①高橋保弘 (千手小)

同女子

①平野奈奈子 (千手小)

同一般男子

①片桐正二 (上 野)

同一般女子

①衣越利美 (千手小教)

Bコース (2.5km)

小学生4年~6年男子

①大久保峻 (摘 小)

# 千手村の学校問題⑤

岩瀬 金子 幸 作

## 千手校の移り変わり

千手小学校創立百周年記念事業協賛会(丸山准二会長)が昭和四十八年十二月に発刊した「千小百年」に次の記載がある。

我校八明治七年一月十六日第六大学区第十二天区(中魚)第十六中学区第三番小学新町新田校ノ第一附属トシテ創設シ、千手校ト称ス(児童数男十六〇人)、中屋敷、水口沢、上新井、東善寺、山野田、沖立ノ諸村通学区域内ニ属ス。一 中略一

明治十三年ニ上野校ノ分校トナリ鶴吉、霜条、高原田ヲ学区域ニ加エシガ、十七年九月沖立ヲ割ツテ他ノ組合ニ転ジ、同年十月水口沢字原田第六九番地ニ校舎ヲ新築シ、之ニ移レリ、十八年五月八日習俗ノ異同、通学ノ便ヲ計リテ小学区ノ区域ヲ縮小シ、「第十小学区ニハ、千手校ヲ高等科トシ、水口沢、中屋敷、山野田、上新井、東善寺ヲ組合トナシ、霜条校ヲ初等科トシ、霜条、坪山、高原田、鶴吉ヲ組合トナス」

## 千手校沿革史(抜)

大正八年四月児童数三百余名(男一七三人、女一四〇人、計三二三人)ヲ村会ニ於テ一学級減級ヲ決議ス、六等分スルモ一学級五十余名ニ過ギズトイフ漠然タル議論ナルモ、實際ハ七十名以上トナリ、三間、四間ノ教室ニハ納マラズ七学級ニ復活ス

大正十二年四月一日、新タニ千手尋常高等小学校設立

六月一日 勅語謄本拝戴  
尋常科男二五五、女三三〇人  
高等科男 三三、女 一三三人

## 校舎の移転で対立

新生「千手村」は千手町尋常高等小学校と中野尋常小学校の二校を廃止し、新しく千手尋常高等小学校を創立した。統合後の新しい校舎は、合併時の覚え書にもとづいて移転、新築することになってはいたが実現が遅れ、昭和に入ると児童数が増えて教室が狭くなり、四年度からまた一学級増加を余儀なくされ、職員室も教室に充てなければ収容

しきれない事態になった。

校舎の移転、新築が遅れたのは、移転、改築に必要な費用四万五千円の調達が、中野村が合併のさいに持ちこんだ改築費一万円を含めてもなお一万円不足すること、それに、校舎が木島に移転すると通学に遠くなる千手南端部の山野田、東善寺の住民が、中野村との約束を破って「移転絶対反対」の声をあげたからであった。そのうえ、扇動者が「村税不納」の行動をおこしたことで反対の輪がしだいに大きくなり、校舎の移転反対組と賛成組の対立が日ごと深くなつて混迷の色を濃くした。

## 覚書をめぐって

合併時に取り交わした覚書が、そのまま実行されていれば問題はあきなかつたが、校舎の移築問題は、いざ建築となると合併協定のとおりにはいかないことになった。明治初年に千手観音の所屬をめぐつて、伊勢平治と旧千手新田五方村(東善寺、山野田、水口沢、上新井、中屋敷)が争つた経緯や、同三十四年に中野村をはさんで上野と千手、吉田側が合併を勧誘したときのしこり、住民感情に加え、新設校の位置や建築費をめぐる双方の利害得失が表面化して紛糾したからである。

争いのもとになった統合校の位置は、旧千手町側(中屋敷を除く)の全住民が現在の千手校の位置を強く希望し、旧中野側の住民は覚書のとおりに木島川南側の高台に建設することを望んだが、中野側の主張に中屋敷も加わつて賛成、反対の勢力が二分した形になり、この事態を村がどう收拾するか注目された。

## 村長発言で村内騒然

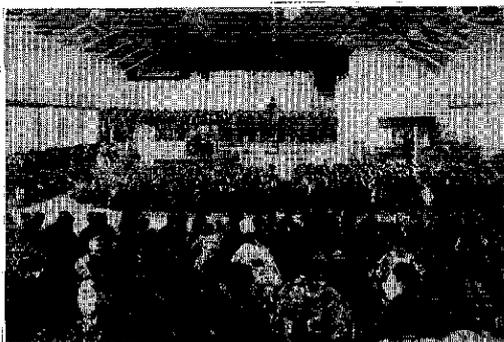
こうした中で、昭和二年一月十日に執行された町会議員選挙は、これまでの等級制を廃止した第一回の普通選挙で、その筋が取り締まりの目を光らせる中でし烈な運動が展開された。十四名の候補者は、村内の波乱を憂慮して出馬のさいに地盤以外の切り崩しはしないことを申し合せて選挙戦に入ったが、終盤戦になると協定は破られて激しい票の奪い合いになった。

校舎の移転、新築を五年以内にとつた期限ギリギリの中で行われただけに村民の関心は高く、投票率が九十パーセントを超える激戦となり、有権者七二一人のうち六九九人の投票があつて、次の人たちが当選した(有権者は男子のみ、定数は千手七人、中野五人、十日町新聞抜)。

- 南雲 政二 六二票 千手
- 太田 寿太 五五票 千手

- 羽鳥 良太 五五票 中野
- 中村虎之亮 五三票 中野
- 北村 富吉 五二票 千手
- 小野塚長八郎 五二票 千手
- 星名甚十郎 四七票 千手
- 高橋千代作 四六票 中野
- 小林岩太郎 四五票 中野
- 羽鳥多一郎 四三票 中野
- 数藤 慶造 四二票 千手
- 田辺善三郎 四二票 千手

新しい議員のもとで問題を協議したが、双方とも譲らなくて話が進まず、不穏な空気に包まれたまま年月は容赦なく過ぎた。解決を急ぐ高橋増三郎村長が「職を屠しても校舎の移転、改築を断行する」と公言し、この発言で村内が騒然となつたのは昭和四年二月のことであつた。



昭和六年十一月  
千手校のヒアノ開き  
(千手小学校蔵)

# 図書室 だより

郷土出身者寄贈図書紹介

○「回想」海防艦第一〇五号

東京経済 江口 晋

著者は小白倉に生まれ育ち、昭和十九年に海軍志願兵として舞鶴海兵団に入団。終戦の年に故郷に帰っている。その後上京して東武鉄道に勤め、定年後本書を執筆したという。まさに五十年前の回想である。それにしてもすごい記憶力である。海兵団でのハンモック吊床訓練から命を削る護衛艦としての任務の戦争体験が克明に記録されている。同時代の人には懐しく、同時に郷土の人としての戦争体験

として貴重な記録である。

○若き日のために

文学博士石田吉貞顕彰記念誌 津南町顕彰会より寄贈された。

表題の「若き日のために」は、博士の自叙伝である。長い独学の苦闘と努力の行路は、読む人に大きな感奮と勇気を与えてくれる。「藤原定家の研究」で文学博士となられたのが昭和三十年六十四歳の時だという。日記や郷土のために作詞された津南音頭や、数々の校歌も集録されている。また、九十五歳の年、津南での最後の講演「津南および秋山の歴史」や、十日町新聞寄稿の「滅びの美学と秋山」も貴重である。実証的研究と愛郷心の表れである。巻頭の「一語の心」というの詩も、郷里をしのぶ心情にあふれていて胸をうつ。

## ムラ言葉その6

小海正太郎（小根岸）さんの発刊された、ふるさと言葉改訂版「中魚沼のムラ言葉抜粋5千字」より、ごく一部を抜粋して掲載しています。

今回はその第6回目です。  
 ませる（大人らしくなる）  
 ませんぼう（牛馬舎の横棒）  
 まねる（つげぐち）（訴えること）  
 まぶせる（種々のものを混合す）



## かわにし 俳壇

高崎正風選

叱らるる子等に夕百舌鳥鳴きにけり  
 待つ人の足音きこゆ雨月かな  
 足立区 涌井ハル子

草紅葉昔を偲ぶ塩の道  
 軸替えて文化の日たり菊括ける  
 高倉 齋木 和人

なつかしく茸採りたる話し聞く  
 山栗を採りし思い出今遠く  
 綾瀬市 野沢ますえ

み仏へ上ぐる故郷の今年米  
 よるこびの包みきれずに石榴割れ  
 八王子市 松浦 サク

畝に置く甘藷の赤さや甘藷を掘る  
 葛這いて紫こぼす峠道  
 新町 若山 向山

稲架影に暮す四五戸の過疎の村  
 木犀の香りに足を止める路地  
 大倉 中条 石平

大花火待てず吾子の眠りけり  
 立秋と思える風のさるすべり  
 元町 金子 鉄平

掛時計カチカチカチと夜の寒し  
 逝くを待つのみ看とりに夜の寒し  
 赤谷 登坂 酔月

残暑なほ引かざる草の中にあり  
 句帳手に清津の秋を惜みけり  
 上野 内山 寛平

ふりむけば一面白きす、きかな  
 よき友の野辺の送りや秋桜  
 仁田 小幡しん女

地中より出て蓮の花美しや  
 野口 五十嵐トラ

秋暗れや強くなりたる孫の足  
 小白倉 江口みゆき

芋の葉のころりと零す銀の露  
 岩瀬 登坂伊智子

がんばれと児等の育てしソバ実る  
 寺尾 白井すみい

番蝶止まってをりし秋ざくら  
 霜条 大海 白濁

萩咲いて空のくまなき蒼さかな  
 伊勢原市 金子 桂吉

夕茜秋は入日の美しき  
 上野 入沢 はや

井戸水の涸る、日照を憂いけり  
 霜条 星名 星光

今朝苗場真白しぶどう棚を解く  
 上町 高橋 願似

下校の子すすきの影を踏みながら  
 志木市 山田十九二

赤とんぼ翔つまで休む小豆打ち  
 野口 村越 幸

夕映にこぼる、ほどのソバの花  
 中仙田 樋口タマエ

コスモスをそつと揺らして赤とんぼ  
 浦和市 登坂 博史

栗の実に故郷の栗の木思ふかな  
 厚木市 川崎 保一

山の宿零余子の飯とろろ汁  
 練馬区 須藤 遊人

渓谷の紅葉の空の小ささよ  
 山野田 藤田ひろ志

うつむきて夜寒の橋を憶ぎけり  
 野口 野沢 寅生

仰ぎ見る空深々と星流る  
 小白倉 田中 優美

三山に末だ雪の来ぬ今朝の霜  
 木落 丸山 詩朗

それぞれの色の紅葉や庭の木々  
 野口 野沢 静江

天高し孫三人もすくすくと  
 高原田 引間 子平

手折るには惜しき野菊の花なりし  
 仁田 戸田 貞子

月近く飛行機雲の真直ぐに  
 四郎兼 平野 恵春

草じらみ付けて散歩の犬戻る  
 野口 村越 由喜

SLの車窓秩父路秋深し  
 足立区 駒形 頼太

や鼻水を出す状態  
 めめよし（美人）

めめつこう（アカンベイ）  
 もうぞうかく（物事に夢中にな

る）  
 もごしやあごしる（ノロイ動作）  
 もちあつけえ（持て余す）  
 もつくらもち（モグラ）

もりっこ（子供の守をする人）

## 善 意

(敬称略)

街路灯 3灯  
 東北電力(株)十日町営業所  
 広報発行に  
 岡村ふじ江(新治村) 1万円

# お便り紹介

神奈川県厚木市にお住いの川崎保一さんから、これからの季節にピッタリの「白菜なべ」(寄せなべともいう)の作り方を送りましたのでご紹介します。

## ○材料

白菜(五人前で大一個)、ニンジン、しいたけ、しらたき、焼豆腐、カマボコ、ちくわ、鳥肉、豚小間切れ、ハマグリ、青柳、トリ貝など、材料は何でも可。

## ○調味料

だしは市販のものでよいが、五人前で一升、三人前で五合位、味付けは吸い物より少し濃いめにします。

## ○作り方

白菜はほぐしてゆで、スノコで巻き、これを六cmくらいに切る。

白菜はなべの中心に置き、周りに具を配し、花形に切ったニンジン添える。

秋の夜長、なべを囲んでアツトホームしませんか。

## 農業改良普及所が名称変更

県では、法律の一部改正に伴い、十一月一日から「農業改良普及所」の名称を「農業改良普及センター」に変更しました。業務内容は変わりませんので、農業技術や経営に関するご相談はお気軽にお申し出ください。中魚沼農業改良普及センター ☎五七―五五一八(代)

## ご利用ください

### ハチガード

最近、ハチによる被害が増え、人命にもかかわるケースもありました。ハチの巣撤去等には充分注意してください。

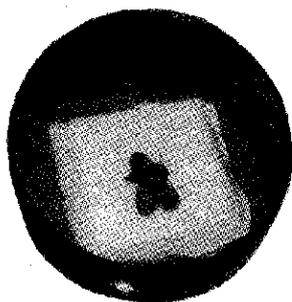
なお、役場環境整備課では、防護服ハチガードを無料で借し出しますのでご利用ください。



# 手軽にミキサーでなべの味

15

## 落花生豆腐



### ■材料

- 落花生 3合
- 水 1升5合~6合
- 片栗粉を使う場合は 300g
- 吉野くず 2箱

### ■調味料

- わさび
- 辛子しょう油

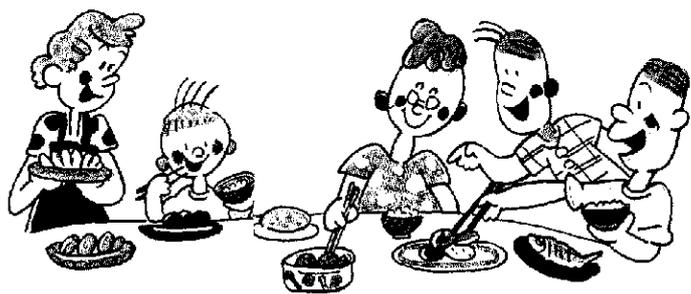
### ■調理方法

- ①落花生を2時間位水に浸す。
- ②落花生をミキサーにかけ、布袋に入れよくもみ出す。この場合、水の量はあくまでも正確にし、何回かに分けてこしながら鍋に入れるとよい。
- ③この中に片栗粉(吉野くず)を入れ、よくかき廻しながら火にかける。手を休めずに練りながら、固まり始めてから15~20分練る。
- ④角面器(水でぬらしておく)に流し、冷す。
- ⑤好みで、わさび、辛子しょう油で食べる。

## 食事はゆっくり欠かさずに

いつの時代からかはつきり分かりませんが、食事は一日三食取るようになり、私達の体もそれに合わせて生活のリズムができていっています。食事を一回ぬかし二回しか食べないと、お相撲さんのように肥ってきます。欠食は特に朝食に多いのですが、朝食をぬかすとエネルギー不足になり、子供では、保育園や学校に行っても午前中ぼんやりしたり、朝礼で倒れたりしますし、大人でも仕事の能率が上がらなくなり、体は、生体時計といって一年間のリズムが体内に刻みこまれています。例えば体温は、夏でも冬でも午前四時頃が最低で、その後次第に高くなり、午後三時頃最高に達します。つまり、午前四時頃は最も活動が鈍く、午後になると元気がでくるといふ訳です。この体のリズムを乱すと体の調子がおかしくなります。海外旅行に行った時に起きる時差ボケもその一つです。ですから、私達は生体リズムを乱さないよう、食事も規則正しく取る方が摂取した栄養を効率よく利用することができま

また、食事はゆっくりと食べ



# 戸籍の窓から

たかきこーご円満に

小川 恭司 高原田  
 小林 恵美 津南町から  
 数 藤勝彦 沖立  
 秋 山奈美 松代町から  
 上 村光司 十日町市から  
 丸 山智恵子 高原田  
 星 名知彦 沖立  
 木 崎美和子 東京都から  
 野 沢光輝 仁田  
 水 落文恵 十日町市から

## 昇天ーごめい福を祈る

野上 久男 39(本人) 栄町  
 藤巻マサイ 58(博) 塩辛  
 田村マサラ 74(英雄) 上野  
 高橋 松平 76(秀直) 赤谷

## 一人芝居

十月二十一日、総合センターで小林へる独演会が開かれました。死に際して人間が直面する「生きるとは、家族とは」をテーマに、淡々としたなかにも迫力のある演技で、観客に問いかけました。



南雲 吉治 76(本人) 木島  
 山家 クニ 86(和平) 上野  
 うぶ声ーおすこやかに

清水 玲人 和子 長男寺尾  
 丸山友利亜 学 長女野口  
 星名 来紀 一郎 長男元町  
 外川 愛佳 明誠 長女伊友  
 数藤 明菜 清智 二女沖立  
 権間 瑠奈 茂佳 二女伊友  
 羽鳥 千明 秀之 二女伊友  
 星名 大夢 正 三男伊友  
 高橋 哲郎 透 長男仁田  
 (10月1日/31日届け出分)

## 表紙の写真

保育園入園前の子供と親・祖父母を対象としているすくすく教室では、十月十九日、ナカゴグリーンパークにハイキングに行きました。見知らぬ同志が子供を通して知り合って、すっかり仲良しになっています。この教室は、毎月一回水曜日の午前中に、総合センターで開かれていますので、参加したい方はおやつ代百円を持っておいでください。お問い合わせは住民課保健係 ☎六八一三一一(内四七) 有線二一四〇まで。

# ちいさな展覧会



▲ 3年生 小海明子さん



1年生 貴田裕介君 ▼



◀ 1年生 桐生かおりさん

▼ 1年生 蔵品哲也君



76

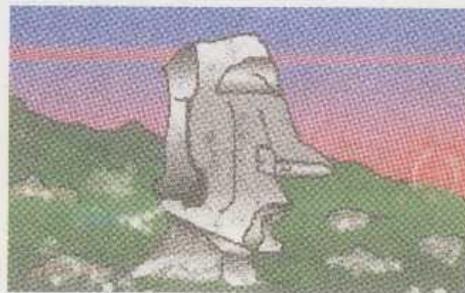
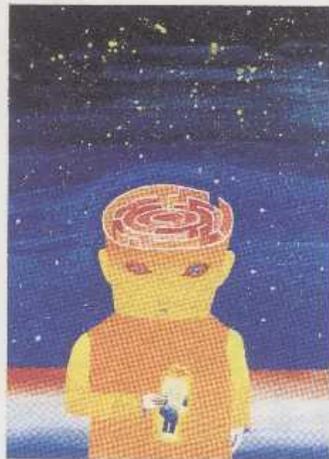
川西中学校

1年生 高橋千代恵さん ▶



▲ 1年生 高橋隼道君

▼ 1年生 水品早絵さん



(12月号は千手小学校です)